

## 寅さん歩 その 24

### 半径 30 分以内－13

#### 庚申塚通り



平野 武宏

「寅さん歩 半径 30 分以内」は 2020 年の新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の中での新テーマです。八柳修之さんの「STAY HOME 半径 500m 以内」からヒントをいただき、自宅から 30 分以内で歩いて行けるマイお散歩コースです。寅さん歩 320 半径 30 分以内－1 で旧中山道の「巣鴨地藏通り」を紹介していますが、今回はさらに旧中山道を直進します。

写真右上は巣鴨地藏通りの終わりで写真左脇が「庚申塚」です。寅さん歩 320 半径 30 分以内－1 巣鴨地藏通りをご覧ください。ここから先が庚申塚通りとなります。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

### [庚申塚通り]

都電荒川線「庚申塚停留場」（写真下左）の踏切を渡り、「庚申塚通り」（写真下右）を進みます。現在は庚申塚商栄会の商店街です。



### [延命地藏堂の石造群]

庚申塚通りを進むと、左手に「延命地藏堂」（写真下左）があります。

「延命地蔵尊」の幟がはためいていました。延命地蔵尊は写真下右の中央です。



説明板に「江戸時代の中山道巣鴨庚申塚付近には、巣鴨町近辺で行き倒れた人や馬の共同墓地があり、墓標として「延命地蔵」が文政年間（1818年～1831年）に建立されました。以来、様々な供養塔が集まり、これらの像は、現在の都電荒川線 庚申塚停留場(前述)の場所にありましたが、明治44年（1911年）停留場建設により移転、その後、現在地に再移転しました。

延命地蔵尊の他、徳本名号塔(徳本という僧が創設の徳本念仏)、題目塔(中山道の旅の安全祈願)、地蔵像庚申塔、馬頭観音の石造物があり、地域の民間信仰を示すものとして豊島区登録有形民俗文化財となっています」と記載。

## [旧中山道はタネ屋街道]

巣鴨地蔵通りの入口の江戸六地蔵がある眞性寺脇で「旧中山道はタネ屋街道」の説明板を見つけました。説明板には「旧中山道を通る旅人の中には弁当を食べるため、街道沿いの農家に立ち寄り、縁側を使わせてもらう人などいました。旅人は農家の庭先や土間で見慣れない野菜を見かけると国元で栽培しようと、タネを欲しがる人も多く、やがては農家の副業としてタネを販売するようになりました。その後、江戸・東京が生んだ滝野川ゴボウ、滝野川ニンジンなど優れた野菜が出現するとタネを扱う専門店が出来、明治の中期にはとげぬき地蔵から板橋区清水町にいたる約6kmの間にタネ問屋が9戸、小売店が20戸も立ち並びながら、「タネ屋街道」になっていました。

寛永20年（1643年）の代官所に申告した書き付けには、長野県諏訪からきたタネの行商人が榎本種苗店（豊島区西巣鴨）に仕入にきた模様が記されています。馬12～3頭をひいてタネを仕入れ、帰り道に「萬種物」の旗を立てて街道のタネ問屋に卸していったり、農家に販売して歩くなど、さながら富山の薬売りと同じようにタネも行商により商われていました」と記載

現在も榎本種苗店の建物が残っていると聞き、探しました。庚申塚通りに面した場所（写真下）にありました。

入り口の窓ガラスには「農産種子生産卸 東京種苗株式会社」と書かれていました。右脇の道を入ると門あり、「榎本」の表札がありましたので、この建物の



後が現在のお住まいのようです。周囲の建物は大正大学の校舎です。右の駐車場の脇に扉に「東京種苗」と表示の建物がありましたので、現在のお店はこちらと推察します。

## [大正大学 すがも鴨台観音堂]

東京種苗の隣は近代的な建物の「大正大学南門」（写真下左）でした。正門は明治通り沿いにあります。寅さん歩 192 東京の学食めぐりー1をご覧ください。



写真上右は「すがも鴨台(おうだい)観音堂」

です。その姿が巻貝のように似ていることから「鴨台さざえ堂」の愛称で呼ばれています。堂内の回廊は往路と復路が交わることのない二重螺旋構造になっています。最上階にご本尊の鴨台観音（菩薩）を安置しています。



平成 25 年 5 月に大学構内に建築され、大乘仏教精神に基づく建学の理念「智慧と慈悲の実践」を具象化した仏教文化施設です。地域交流の場として 9 時～17 時に拝観(無料)できます。

## [千川上水公園]

庚申塚通りを進むと、明治通りに突き当たりました。「堀割」という名の交差点があり、交差点手前左側を見ると「千川上水公園」がありました。

「千川上水」とは「玉川上水」を水源として堺橋(現在の西東京市新町と武蔵野市桜堤との境界付近)から江戸城の城地域を流れる総延長約 22km の用水路(上水)で江戸六上水のひとつです。元禄 9 年(1696 年)徳川綱吉により上水開削が命じられ、小石川屋敷(綱吉の別邸)、湯島聖堂(幕府の学問所)、上野 寛永寺(徳川家の菩提寺)、浅草 浅草寺(幕府の祈願所)などの給水のほか、六義園(綱吉の寵臣 柳沢吉保の下屋敷)の池へ大量に引水されました。現在は使用されておらず、大部分が暗渠となっていますが、東京都の清流復活事業として一部区間で水辺を復活しているとのこと。



写真左は千川上水公園内の沈殿池で六義園給水用に作られました。千川上水公園は旧千川上水を偲ぶ公園で豊島区の最初の公園です。公園の地下には沈殿池や水流を調節するために設けられた分水堰があるとのこと。

明治通りの堀割交差点から先は豊島区西巣鴨から板橋区滝野川に入り、旧中山道は板橋宿に向かいます。滝野川も「タネ屋街道」の続きです。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「日光道中二十一次」を終え、宇都宮に戻り、バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」に挑戦です。「奥州街道」の日本橋から宇都宮までは「日光街道(道中)」と共用なので宇都宮を出発点としました。

2020年12月23日栃木県宇都宮市を出発、2021年5月25日岩手県花巻宿に到着しました。花巻は2004年8月「イーハトーブの里ツーデーマーチ」で訪れた地です。

新型コロナウイルス感染拡大で例会が中止となっています、運動不足にならないように自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

平野 寅次郎 拝